

《研究課題名》

[18F]BCPP-EF PET トレーサーを用いた神経・精神疾患への脳病態研究

《研究対象者》

浜松医科大学で研究課題: 「[18F]BCPP-EF PET トレーサーを用いた神経・精神疾患への脳病態研究」に参加された 20 歳以上の健常研究対象者と認知症性疾患患者（レビー小体型認知症とタウ症候群）の方。

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、**対象となる方の試料・情報を用いて行う研究であり**、研究目的や研究方法は以下の通りです。試料・情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への試料・情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（４）の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について

《研究課題名》 [18F]BCPP-EF PET トレーサーを用いた神経・精神疾患への脳病態研究

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2026年3月31日

《研究責任者》 滋賀医科大学神経難病研究センター 西村 正樹

（２）研究の意義、目的について

《意義》 この研究は認知症や軽度認知障害の方、および認知機能が正常な対照健常者を対象に行っています。私たちは、認知症の病状を反映する新しい血液の検査法を開発しています。将来的に有用な診断法が確立されれば、大きな社会問題となっている認知症の克服に貢献することが期待できます。

《目的》 認知症の方の血液中の分泌タンパク ILEI およびその関連物質を詳しく調べ、認知症の診断や病態解明に役立てることです。

（３）研究の方法について

《研究の内容》

この研究は浜松医科大学で同意をいただいた研究協力者の方から採血で得られた血液を用いて行います。採取した血液中の ILEI を解析し、認知症に関係する認知機能検査や画像検査の結果とあわせ、病気との関係を調べます。

《利用する試料・情報の項目》

浜松医科大学で研究課題: 「[18F]BCPP-EF PET トレーサーを用いた神経・精神疾患への脳病態研究」にご協力いただいた方から提供された**血液サンプル**を解析します。

認知症性疾患患者症例:

観察項目: 参加者背景(疾患名、年齢、性別、身長、体重、利き手、、喫煙、飲酒、学歴、家族歴、成育

歴、合併症、既往歴、治療薬、血糖値、画像検査の異常)

検査項目：神経心理学的テスト：MMSE、CDR、ADAS cog、WMS-R-LM、FAB、Revermead
血液中 ILEI の定量

健常者症例:

観察項目：参加者背景(疾患名、年齢、性別、身長、体重、利き手、、喫煙、飲酒、学歴、家族歴、成育歴、合併症、既往歴、治療薬、血糖値、画像検査の異常)

検査項目：血液中 ILEI の定量

《利用する者の範囲》

共同研究機関：

浜松医科大学 生体機能イメージング研究室（教授）尾内康臣

浜松 PET 診断センター・院長・西澤貞彦（PET 遂行支援）

浜松ホトニクス中央研究所 センター長 塚田秀夫（研究計画時と論文作成時での助言）

北海道大学 大学院薬学研究院（特任教授）鈴木利治（血液データ解析）

滋賀医科大学 神経難病研究センター（教授）西村正樹（血液データ解析）

新潟大学 脳研究所（教授）池内健（血液データ解析）

《試料・情報の管理について責任を有する者》

滋賀医科大学 神経難病研究センター 西村正樹

（４）本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 神経難病研究センター 西村正樹

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2328

メールアドレス：mnishimu@belle.shiga-med.ac.jp